



リスクマップを活用して日常のリスクを見直しませんか

日常生活には様々なリスクが潜んでいます。万が一の時に困らないためにこれらのリスクに備えていく事が大事です。三井住友海上が提案する個人向けリスクを紹介します。

● おすまいのリスク ●

【火災】【風雪災害等】【水災】【破損・汚損等】【地震】



多くの方が「火災保険」に加入してこれらのリスクに備えていると思います。ただ加入している商品によっては【破損・汚損等】が未加入であったり、地震の損害は通常の火災保険では補償されないのので「地震保険」に加入する必要があります。

● お車のリスク ●

【お車の損傷】【相手の物の損壊】【相手のケガ】【搭乗者等のケガ】【台車の補償】



こちらにも任意の自動車保険にされているケースが多いと思います。ただ「車両保険」に加入している割合は全車種平均で50%に満たないというデータもあります。単独事故での補償を除いた「限定型」の車両保険は保険料も割安。万一の事故に備えて車両保険にも加入しておくのがおすすめです。

● 病気・ケガのリスク ●

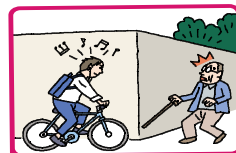
【死亡】【病気による入院】【ケガによる入院】【働けなくなった時の補償】【老後の保障】



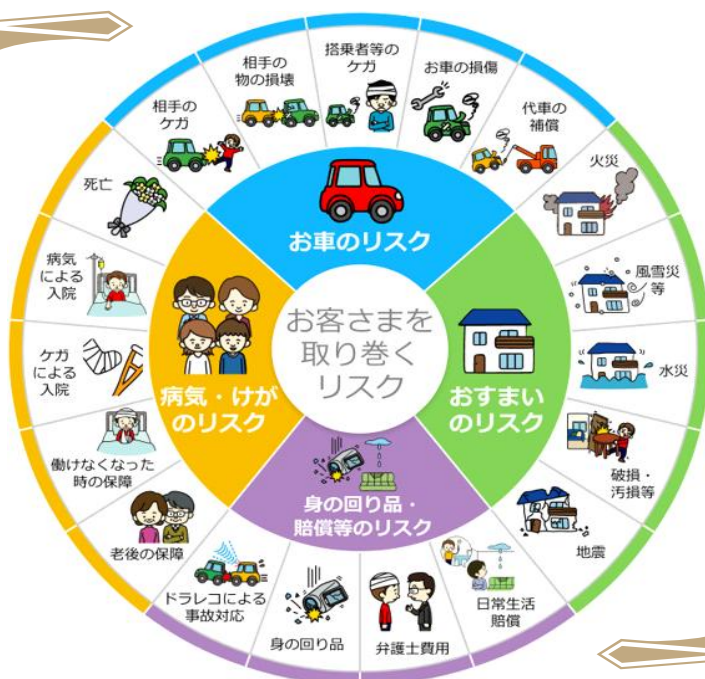
単身、世帯主などの立場によりリスクは異なります。また住宅ローンを借りたときに団体信用生命保険に加入するケースでは補償が重複または過大になることがあるので適宜見直しが必要です。

● 身の回り品・賠償等のリスク ●

【日常生活賠償】【弁護士費用】【身の回り品】【ドラレコによる事故対応】

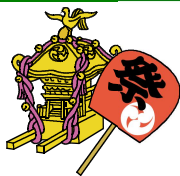


埼玉県では条例で自転車保険の加入が義務化されています。保険で「日常生活賠償」に加入していれば自転車でも相手をケガさせて閉まった場合でも補償されます。最近の保険ではドラレコと連動した事故対応が登場しています。



リスクマップを活用して備えを見直してはいかがでしょうか。

営業部 山田



夏祭りの起源



夏祭りの起源は、日本古来の神様をまつる祭礼と、祖先の霊を供養する行事が結びついて発展したものです！

1. 神様への感謝と豊作祈願

古代の日本では、夏は田んぼの稲が育つ大切な時期でした。そのため、地域の神様に

- * 豊作を願う
- * 災害や疫病が起こらないよう祈る
- * 村の安全を願う

といった祭りが各地で行われるようになりました！



2. 疫病退散を願う祭り

昔は夏に疫病が流行しやすかったため、「悪いものを追い払う」ことを目的とした祭りも広まりました。

代表例は、八坂神社の祭礼である**祇園祭**です。平安時代の869年、疫病を鎮めるために始まったと伝えられており、現在も日本三大祭の一つとして受け継がれています！

3. お盆とのつながり

夏祭りには、お盆の行事と結びついたものも多くあります。

お盆は祖先の霊を迎え、供養する期間で、盆踊りはもともと霊を慰めるための踊りとして始まりました。現在では地域の交流を深める行事としても親しまれています。

現在の夏祭りでは、

- * 神輿(みこし)
- * 山車(だし)
- * 盆踊り
- * 花火大会
- * 屋台



などが行われ、伝統的な信仰だけでなく、地域の人々が交流し、文化を受け継ぐ大切なイベントとなっています。

つまり、夏祭りは「神様への感謝」「疫病退散の祈り」「祖先供養」という3つの要素が長い歴史の中で融合して生まれた日本の伝統行事なのです。



建設部 霧島



グーグル
マップで

光陽を評価
してください！

光陽との取引や仕事を通じての感想や評価を「グーグルマップ」に投稿をお願いします。皆様のお声は今後の業務に活かしていきます！



株式会社光陽

〒351-0022

埼玉県朝霞市東弁財1丁目7番30号

TEL 048-465-1151 (代表)

● 瓦版委員：老川、秋田、大羽、藤岡

沖、鹿江、坂下

● 発行日：令和 8年 9月 1日

休業日・夜間緊急連絡先

(株)パイオニアコミュニティー

TEL 048-476-0260